

第28回アレルギー週間(2月17日～23日)に賛同し、ご自身の周囲の方への告知手段として、今年もアレルギーサインシールの(マスクや持ち物に貼ってご利用下さい)配布をいたしました。同時に申し込みをいただいた方々に今後の会の運営の参考にさせていただきたく、アンケートのご協力をいただきましたのでご報告いたします。

募集期間：2022年1月26日(水)～2月26日(土)

配布期間：2022年2月2日(水)～3月2日(水)

配布総数：ご協力いただいた クリニック 9クリニック ・ 調剤薬局 3店舗 計12カ所 ×20部
当患者会への申込者 81名 配布合計 321件

申込方法：Fax・郵便・メールのみ ☎受付なし

告知方法：当患者会(会報・HP・FB)、ポスター 医療機関・調剤薬局、ミニコミ誌 相模原・町田 2誌

アンケートご協力者の情報 総数 81件

【性別】 女性 67名 男性 14名

【年齢】 10歳未満 7名・10代 1名・20代 8名・30代 0名・40代 18名
50代 20名・60代 14名・70代以上 13名

【職業】 フルタイム 19名・パート・アルバイト 20名・専業主婦 17名・学生 6名・無職 11名
自営業 2名・会社役員 1名・幼稚園 1名・非常勤職員 1名・自由業 1名
フリーランス 1名・先日まで教員 1名

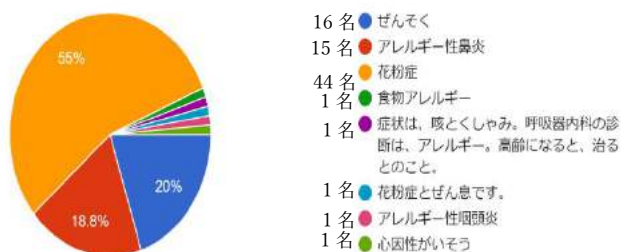
【お住まい】 住宅街 72名・繁華街 1名・郊外 8名

アンケート内容の集計

ご応募について、担当者の感想

1. 今回あなたがアレルギーシールをご希望になる疾患は？

80件の回答

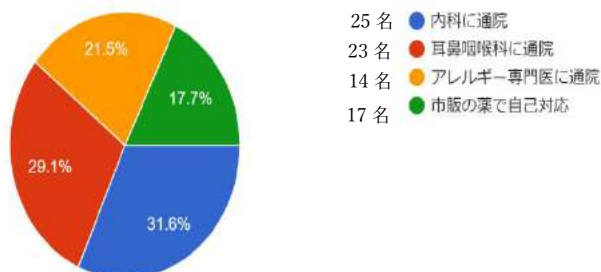


・咳やくしゃみに、これほど多くの方が苦慮されていたのかと、反響の大きさに思い至りました。花粉症の時期とコロナ感染との重なりもあったのではと思います。

・アンケート集計で81名のご参加中3名の方がぜんそくなのでアレルギーシールは辞退するという方があり、意外な気がしました。

2. アレルギー性疾患で通院されていますか？

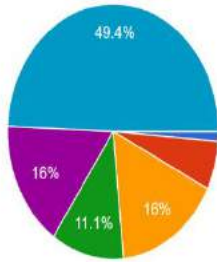
79件の回答



・耳鼻科受診に次いで内科受診が多いと感じました。1つの受診ですむのなら、という気持ちもあるのでしょうか。それとも専門医にかからない程度の症状と判断をしているのかです。

3. あなたは、いつ頃から、アレルギー疾患を発症されましたか？

81件の回答

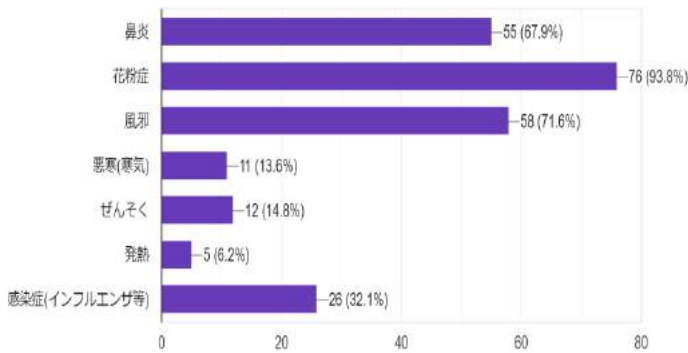


- 発症していない
- 5名
- ここ1年以内に発症
- 13名
- 1～5年くらい前から発症
- 9名
- 5～10年くらい前から発症
- 13名
- 10～20年くらい前から発症
- 40名
- 20年以上前から発症
- 1名
- 以前は花粉症だったが、今は治った



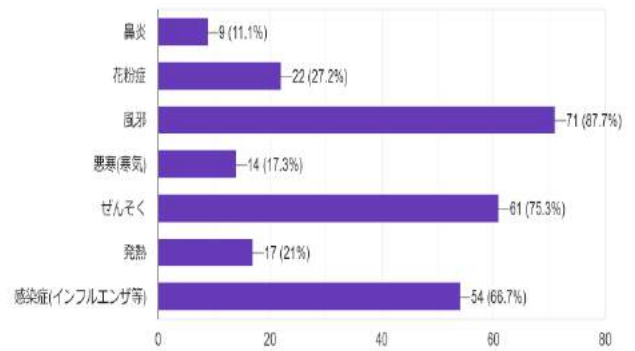
4. くしゃみで思い浮かべる疾患は何ですか？(複数回答可)

81件の回答



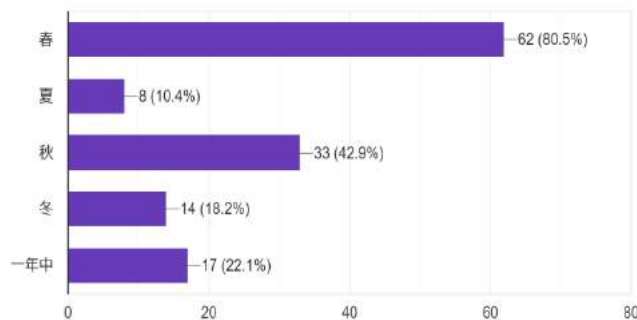
5. 咳で思い浮かべる疾患は何ですか？(複数回答可)

81件の回答



6. あなたが花粉症を発症する季節をすべて教えてください。(複数回答可)

77件の回答



くしゃみ、せきについて担当者の感想

・通常でも交通機関や人込みでのくしゃみや咳は、人の目が気になります。不要不急でなく、通院での外出に、周囲に気を使わずにすむようにしたいとの希望が皆様の声に表れていました。

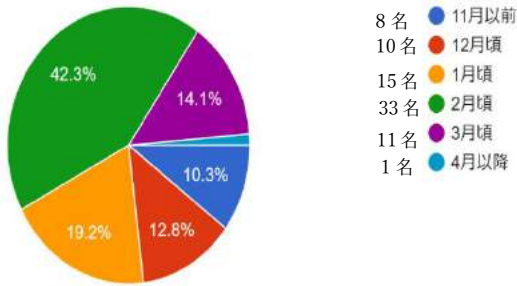
・30数年前発作時に電車で病院に向かう途中、激しく咳込み周囲の方がいなくなったことを思い出しました。確かにインフルエンザの流行期に入っていたので無理もなかったかな？

・近年花粉症が増加しているためかくしゃみがイコール花粉症と思える人が多くなってきていると感じました。咳に関しても風邪、ぜんそく、インフルエンザの次に花粉症という認識があります。花粉症から果物アレルギー発症。ぜんそくへと移行する人もいますので正しく理解しようという人もでてきているのではないのでしょうか。

花粉症について担当者の感想

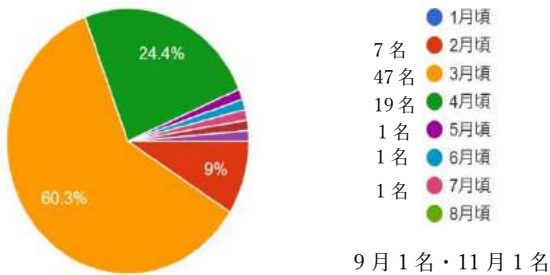
7. 春の花粉症について、いつも何月頃から花粉症対策を始めますか。(一つだけお答えください。)

78件の回答



8. 花粉症について、あなたが、最も症状が辛いのは何月頃ですか。(一つだけお答えください。)

78件の回答



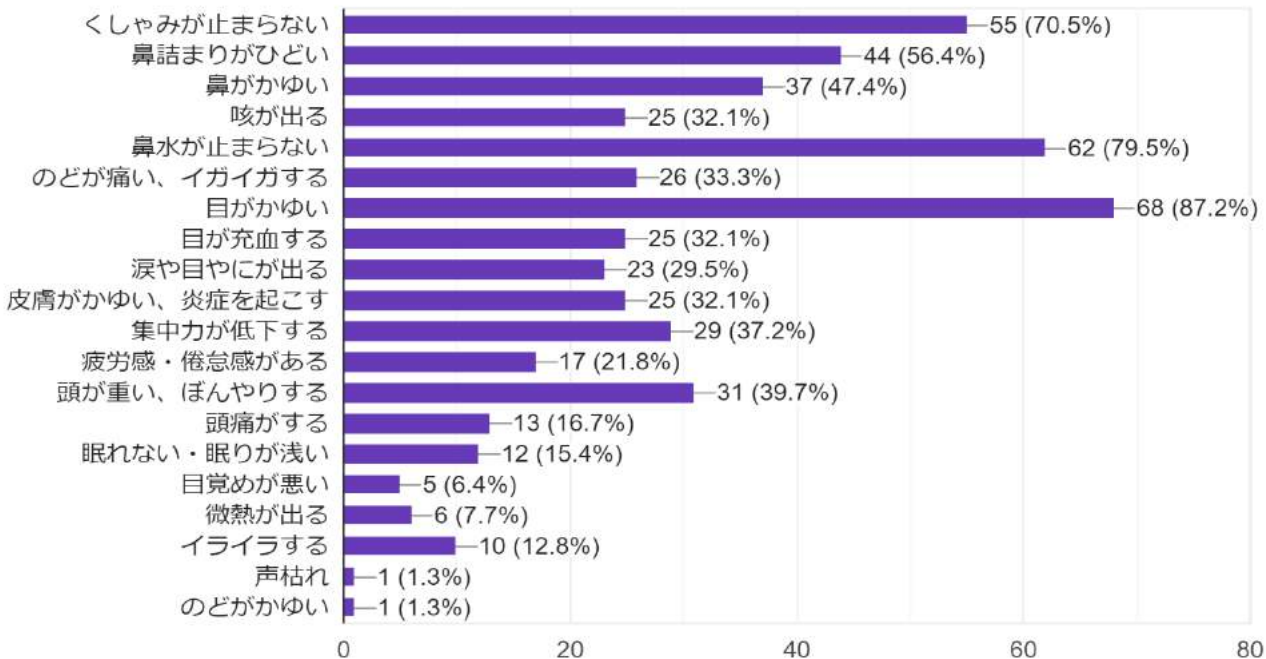
・春先だけでなく11月以前からの対策をされる方が10%強と万全を期しています。3月は60%強が症状が辛いとの結果です。症状が花粉症とコロナが同じようになれば肩身が狭く、感染症の収束を願うばかりです。

・アレルギー性鼻炎で通年型です。空気の変った時にくしゃみが多発します。大きなくしゃみなので気がひけます。

・花粉症は鼻だけの症状だけでなく目の痒みや皮膚の痒みも伴います。症状が強い日々は精神的にも辛くなってしまいます。家族だけでなく周りの理解もあると少しは気がらくですね。

9. 花粉症の方、どんな症状でご自身が花粉症だと思いましたか？(複数回答可)

78件の回答

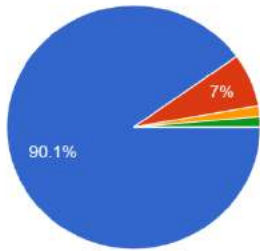


アレルギー性疾患で通院されている方へ

10. 主治医と意思の疎通ができていますか？

医師に自分の困っている症状をきちんと伝わっていると思いますか？

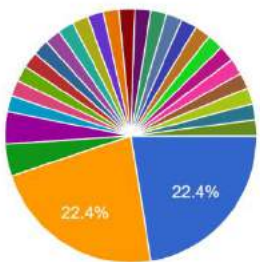
71件の回答



- 64名 ● 伝えている
- 5名 ● 伝わっていない
- 1名 ● アレルギーでは何年も医者に行っていない
- 1名 ● 花粉症の薬をもらう時だけ耳鼻科を受診

主治医の指導が理解できますか？

49件の回答



- 11名 ● 専門用語で解らない
- 0名 ● 聞き返すと叱られて聞けない
- 11名 ● 理解できる
- 2名 ● 理解している
- 2名 ● わかる
- 1名 ● 聞いて下さいますが、何年も同じ薬し...
- 1名 ● 理解できてる
- 1名 ● けっこうわかりやすい

10. の回答の追加 ↓

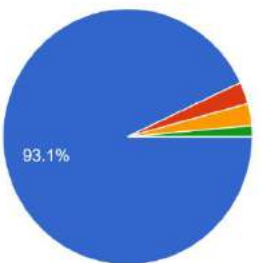
- ・指導してもらっていない 1名
- ・信頼できる医師に出会っていない 1名
- ・毎年同じ飲み薬をもらっている 1名
- ・ほぼ理解している 13名
- ・解らない場合は聞き返す 1名
- ・理解できない事も良く説明がある 1名
- ・指導が実行しにくいことがある 1名
- ・アレルギー専門医から近所のホームドクターに移行していますが、薬の量を減らしたいと思っているがこのままで良いと言われている。減らさない事で現状維持ができているということなののでしょうか？ 1名



<医師から処方された薬剤について、使用方法や副作用を理解していますか？>

使用方法

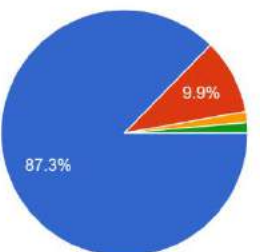
72件の回答



- 67名 ● 理解している
- 2名 ● 理解していない
- 2名 ● よく解らない
- 1名 ● 通院していない

効果(何に効くか)

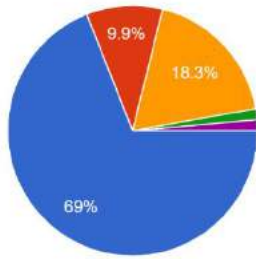
71件の回答



- 62名 ● 理解している
- 7名 ● 理解していないものもある
- 1名 ● 通院していない
- 1名 ● 理解しているつもりだが、それでよいが分からない。

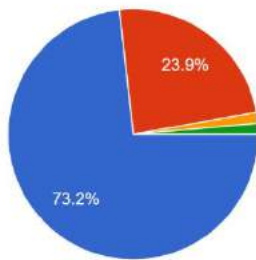


副作用
71件の回答



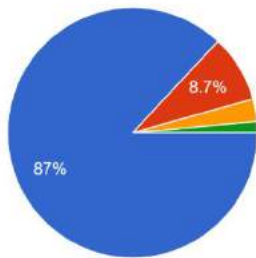
- 49名 ● 理解している
- 7名 ● 理解していない
- 13名 ● よく解らない
- 1名 ● 通院していない
- 1名 ● 理解していると思うが、しっかり理解しているかと言われると自信が無い

処方された薬剤は最後まで使っていますか？
71件の回答



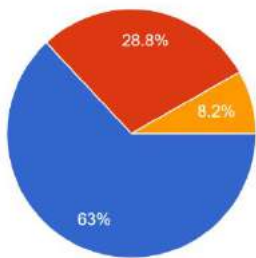
- 52名 ● 使用しきる
- 17名 ● 残ることが多い
- 1名 ● なし
- 1名 ● 残ったときは次回の処方調整してもらう。

発作時(頓服)に使用する薬剤の使い方は？
69件の回答



- 60名 ● 理解している
- 6名 ● 解らない
- 2名 ● なし
- 1名 ● 頓服は処方されていない。先生に頼んでみる。

定期的に通院していますか？
73件の回答



- 46名 ● 通院している
- 21名 ● 症状が出た時だけ
- 6名 ● 通院していない

主治医との関係に担当者の感想

・主治医を持たない方もおられ、コミュニケーションを苦慮されている方が見られます、事前に不安なことをメモにして持参したり、薬剤の使用方法などについては、薬剤師さんに伺うのも良いかと思えます。

・使用方法や効果については93.1%87.3%と理解している人がいることはいいと思うが、処方された薬剤を最後まで使用しているのは73.2%とまで下る。理解していても使用は最後までされていない点はやはり主治医との会話不足からなのかと思えます。手帳に体調の変化を残すというのも一つ自己管理ができる1歩かと思えます。

・医師に症状をきちんと伝えられコミュニケーションが上手にとれている方が多い中、専門用語が分からないという声の多さが気になりました。多忙な診療の中で患者側が、どう質問して理解につなげるのか。また処方薬の理解は高いですが、まだ理解されていない部分もあり、薬剤師さん等の担う役割が大きいと感じました。吸入薬も毎日となると慣れて、いい加減になってしまいがちです。立ち止まって原点に戻り、使い方の再確認等が出来る機会が設けられたら良いと思いました。患者会が、その隙間をどう繋げられるのか課題かと思いました。

次の集計は、応募していただいた方へのアンケート結果です。

アレルギーサインシール配布アンケートのご報告 ②

1990年9月に国立相模原病院に通院中のアレルギー・ぜんそく患者を中心として発足した患者会です。30余年を経過して、集う患者さんの要望も大きく変化してきました。

中々、患者さんのご意見やご要望を直接お伺いする機会が少なく事業の内容も患者視点に立っていないことが懸念されます。アンケート1・2の実施にご協力いただきありがとうございました。

いただいたご意見、ご要望に沿えるように事業計画をたてていきたいと思っております。

2回目のアンケートの集約結果は下記のとおりです。

アンケートご協力者の情報 総数 24件

【性別】 男性 7名 女性 17名

【年齢】 10歳未満 2名・30代 1名・40代 3名・50代 5名・60代 6名・70代以上 7名

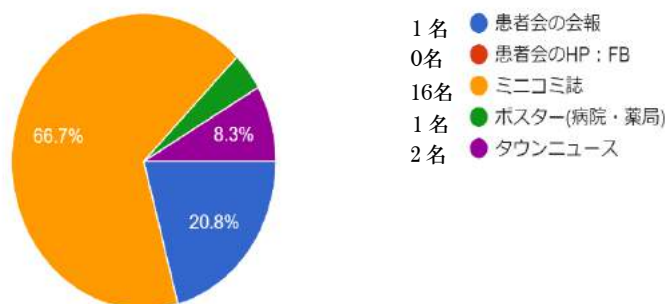
【職業】 フルタイム 4名・パート・アルバイト 8名・専業主婦 3名・無職 7名・自営業 1名

【お住まい】 住宅街 21名・郊外 3名

アンケート集計結果

1. アンケート応募は下記のどこから情報を得られましたか？

24件の回答



事業の周知方法へ担当者感想

・多くの方々への周知配布を願ひ、今回は、一部のクリニック様、調剤薬局様のご協力をいただきました。この分野が拡大出来れば、多くの方々への配布が出来たと思われる。

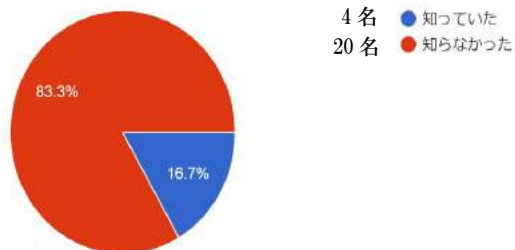
・HP、FBから情報を得た方が多く、SNSの必要性を痛感しました。また、SNSをされない方にも配慮が必要と思われました。花粉症の辛い症状が多岐に亘り、悩まれて、対策にも苦慮され様々に工夫されているのが、手に取れました。減感作療法なども手軽になればと願ひます。

・アンケートにご協力の方々、ありがとうございました。今後の患者会の活動や会報の内容を考えるうえで参考にいたします。

・コロナ禍で咳やくしゃみが毛嫌いされました。人への気づかいがサインシールの形になりました。通院先にサインシールを置いていただいたところ同じ思いの方々が多いことに驚きました。

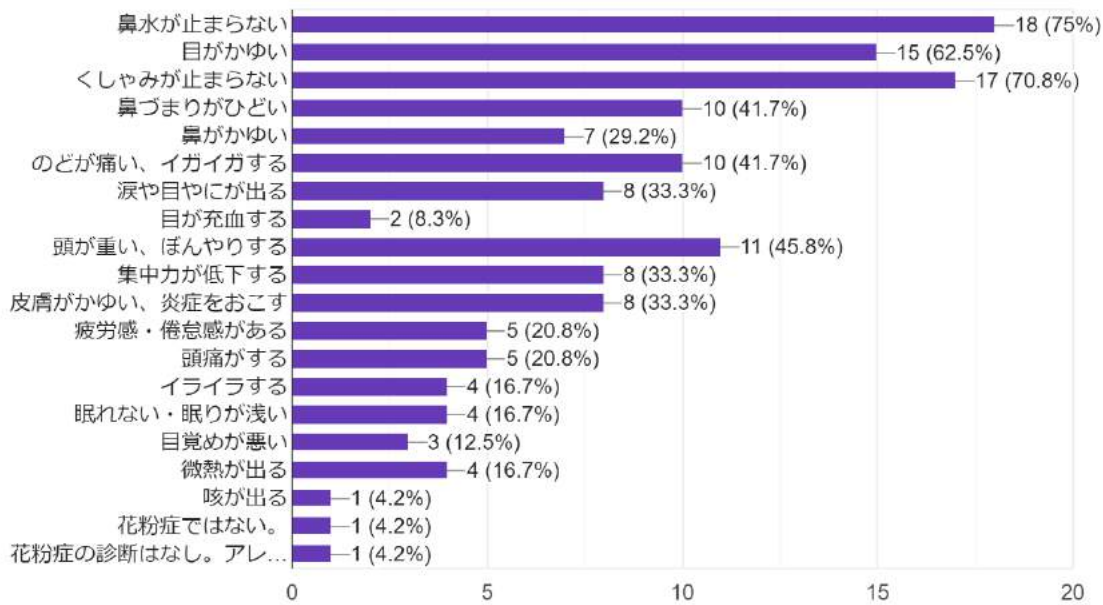
2. アレルギー協会が進めている、アレルギー週間毎年2月17日～2月23日をご存じでしたか？

24件の回答



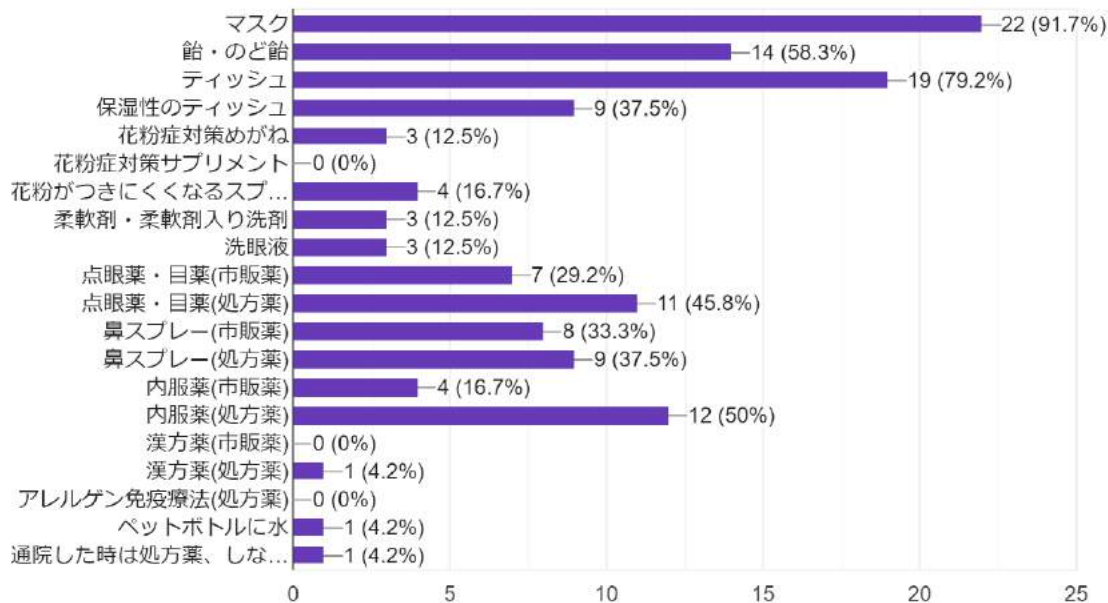
3. 花粉症で、特に辛い症状は何ですか。あてはまるものをすべて教えてください。(複数回答可)

24件の回答



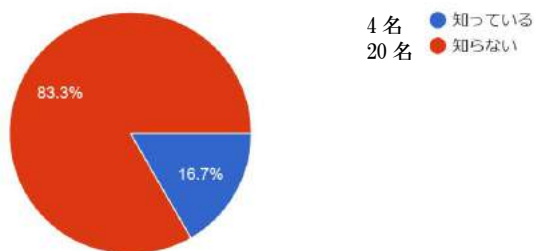
4 花粉症シーズンを乗り越えるための対策として...まるものをすべて教えてください。(複数回答可)

24件の回答

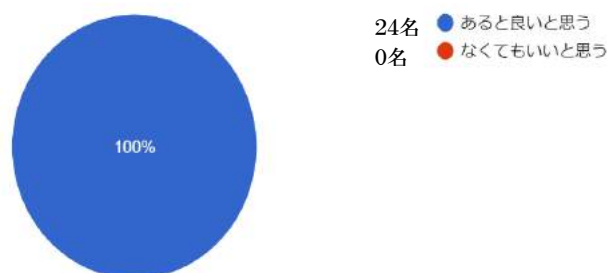


5. アレルギーマーチという言葉をご存じですか？

24件の回答



6. 成人のアレルギー患者は其々の疾患別に診察をうけていますが、アレルギー性疾患全般を受診できるアレルギー科(医師)があると良いとお考えになりますか？



良く使われる言葉の周知や総合アレルギー医希望へ、担当者の感想

・アレルギー週間(事業)やアレルギーマーチ(疾患の連鎖)の周知は意識改革となり、病の克服の第一歩と思える。また小児科の様に一つの科で診察を切望する

・小児科から大人の診療へと変わると対応のギャップに悩まされます。今まで手とり足取りの対応がいつぱんにひっくり返ります。アレルギー専門医に通院していれば良いですが、アレルギー専門医が少ない地域もあります。アレルギーガイドラインを元にどこでも指導してもらえたいことを願います。

・まだ、周知されていない言葉もあり、また総合アレルギー医を切望する声の多さに考えさせられました。また地域に偏りなく、医療や薬剤師さんの投薬指導などが受けられたらと思いました。

2回のアンケートにご協力いただき

ありがとうございました。

総評

Covid-19のパンデミックに伴い、人前で咳・くしゃみをするのが憚られ、その症状がCovid-19のためではなく、気道系のアレルギーによるものであると示すためのサインシールを配布したわけです。公布する手段と時間が限られているにもかかわらず、多数の方からアンケートを戴きました。もっと効果的な周知法があればもっと多くの方に利用されたのではないかと思います。

花粉症が鼻、眼だけの局所症状に留まらず、集中力の低下や倦怠感。疲労感と言った全身症状も呈すること、それに主治医とのコミュニケーションにおいて専門用語で分からないと答えた方がけっこういらっしゃるの印象に残りました。

おそらく主治医に何を聞いたら良いかと言うことも分からないのではないかと危惧します。

Covid-19は未だ収束の目処が立っていません。未だもうしばらくはアレルギー疾患を持つ患者の集まりとして色々対処していかなければならない期間があると思います。